



「竹園並黄金地屏風」部分(左隻、多久市郷土資料館蔵)

江戸時代後期に、佐賀藩を代表する儒学者、教育者、文人として名を馳せた草場佩川。博覧多識、多芸多能で多くの漢詩や書画を制作。藩校弘道館教授も務め、明治期に活躍する副島種臣、江藤新平、大隈重信らを育てました。

全国に知られた博覧多識、 多芸多能の賢人

草場 佩川 (1787-1867年)

時代を編む

佐賀 温故知新 かわら版

草場は、佐賀藩の重臣多久家の家臣の家に生まれ、多久邑校「東原彦舎」から弘道館に進学。早くから学問をはじめ詩文や書画で頭角を現します。18歳の時に、弘道館教諭で後に10代佐賀藩主鍋島直正の側近となる古賀(穀堂)から「珮川」後に「佩川」に変更の号を与えられ、1809年、江戸幕府の学問所「昌平黌」に入学。古賀穀堂の父で「寛政の三博士」と称された昌平黌教授・古賀精里に師事します。1811年には朝鮮通信使の応接役となった古賀精里に従い、対馬で朝鮮通信使と詩文や書画を通じて交流。その才知の深さに通信使たちから「奇才」と絶賛され、広く知られるようになりました。

佐賀に戻ると東原彦舎や弘道館で教鞭をとり、政治にも参画します。師である古賀精里、穀堂を通じ

クールビズで地球に優しい選択を

県では、環境に優しい「クールチョイス(賢い選択)」に取り組んでいます。皆さんも室温28℃を目安とした冷房温度の調節や、冷房環境に適した軽装(ノーネクタイ等)にご協力ください。

取り組みのポイント

- ・扇風機などで空気を循環させる
- ・ブラインドや断熱シートで室温上昇を防ぐ
- ・うちわや扇子で体感温度を下げる
- ・使わない照明やOA機器などは電源OFF
- ・来訪者へ告知、協力を依頼



実施期間 9月30日(水)まで

詳しくは 環境課 ☎0952(25)7079

7月28日は世界肝炎デー

佐賀県は、肝炎による死亡率が全国に比べて高い県です。自覚症状や健診での異常がなくても要注意!この機会に、ぜひ最新情報をチェックしましょう。



©2014 さが肝.net
さが肝.netキャラクター「肝ちゃん」

7月23日(祝・木) サガテレビ かちかちPress 16:20~ 「イマコレ」で肝炎検査を紹介

7月26日(日) 佐賀新聞に「世界初! ?まるまる一冊佐賀“肝”聞」を折込み

詳しくは がん撲滅特別対策室 ☎0952(25)7491

県立文化施設 イベントスケジュール

施設名	7月	8月上旬
博物館 美術館 ☎0952(24)3947 (佐賀市) 維新博×モリアル展示 “幕末維新記念館”	さがヲぼる -佐賀県発掘成果速報2020- コレクション展「肥前刀のいろは」 7/14(火)~9/13(日)	8/23(日)まで
佐賀城本丸 歴史館 ☎0952(41)7550 (佐賀市) 維新博×モリアル展示 “弘道館”	初代忠吉 刀銘「肥前国忠吉/慶長五年八月吉日」 テーマ展「鍋島家の女性たち」 7/17(金)~8/30(日)	
名護屋城 博物館 ☎0955(82)4906 (唐津市)	円勝院像(公益財団法人鍋島報効会蔵) テーマ展「螺鈿と蒔絵」 8/16(日)まで	
九州陶磁 文化館 ☎0955(43)3681 (有田町)	なごや歴史講座 「螺鈿と蒔絵」 7/19(日) 13:30~15:00	
宇宙科学館 ☎0954(20)1666 (武雄市) ※要観覧料	開館40周年記念・奇蹟記念 特別企画展 高取家コレクション 7/12(日)まで	
	ミニ展示「はやぶさ・はやぶさ2の軌跡」	

毎週月曜日(祝日・休日のときは翌日)。佐賀城本丸歴史館は、無休。
休館日 図書館は、7月29日(水)休館 ※毎月最終水曜日
公文書館は毎週月曜日

KBC地域共創プロジェクト
ふるさとWish
7月13日(月)~19日(日) 佐賀県を1週間大特集!
KBCの番組で、佐賀の魅力をつぶりと発信!
テレビ 「アサデス。KBC」「サワダテース」「シリタカ!」など各番組
ラジオ 「小林徹夫のアサデス。ラジオ」「PAO~N」など各番組

7月実施 パブリック・コメント
ご意見をお寄せください
[7月上旬~7月下旬(予定)]
▶「佐賀県自転車活用推進計画(素案)」
詳しくは 広報聴聞課 ☎0952(25)7351
佐賀県 パブコメ 検索

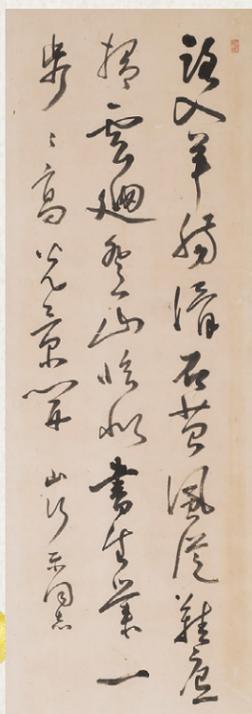
さがスポ インフォメーション
サガン鳥栖
明治安田生命1リーグ
7月4日(土)から再開決定!
試合日程、対戦カードについては、サガン鳥栖のホームページをご覧ください。
詳しくは 佐賀県プロサッカー振興協議会 ☎0942(81)5290 サガン鳥栖 検索

佐賀県の推計人口
令和2年5月1日現在
人口 810,431人(前月比711人増)
男:383,878人 女:426,553人
世帯数 315,129世帯(前月比1,027世帯増)

ゆかりの場所

東原彦舎
場所 多久市多久町
4代領主多久茂文が1699年に設置した朱子学の学校で、草場佩川が学んだ。1991年に当時の面影を残しつつ、現代風に再建され、社会教育施設として利用されている。

草場佩川生誕地
場所 多久市多久町
「佩川先生誕生地」と記した記念碑は、聖廟300年祭の折に、集落の中から道路沿いに移設された。



「山行示同志」(個人蔵)
(写真提供:多久市郷土資料館)

た人脈をもとに、頼山陽や広瀬淡窓ら一流の文人たちとも交流を広げ、全国各地から多数の人物が来訪、書簡を送ってきたほか、面談希望や書画の依頼が相次ぎました。屈指の文人として高く評価されていたことが分かります。

1855年には江戸の昌平黌教授に招聘されたものの、佩川は老齢を理由に辞退。1861年には弘道館教授を退き、1867年、明治維新の前年に生涯を閉じました。

(注)明治改暦以前に生まれた人物の年齢については、数え年で表記しています。

時には夜を徹して読書、時には一夜に数十首の漢詩を作ったといわれ、生涯の漢詩作は2万首余り。なかでも漢詩「山行示同志」は「登山恰似書生業 一歩歩高光景開(山に登るのちはちようど書生の学問修業と同じで、一歩高い所に登るにつれて、新しい視界が開けてくる)」と記し、学問を志す者に諭した漢詩として広く知られています。(協力:佐賀新聞社)